

【 診療科: 整形外科 】
 【 レジメン登録番号: OP-01 】

〈 HD-MTX療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)	
			1	7
メトトレキサート	8~12g/m ²	div	○	

【1コース期間: 7日】 【総コース数: 術前: 2~6コース、術後: 4~6コース】

【適応癌種: 骨肉腫】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

day	Rp	薬剤名	投与経路(速度)
<day1>	Rp.1	アプレビタントカプセル 125mg	p.o

day	Rp	薬剤名	投与経路(速度)
<day2-3>	Rp.1	アプレビタントカプセル 80mg	p.o

day	Rp	薬剤名	投与経路(速度)
<day0>	Rp.1	メイロン20mL 1A ソルデム1 500mL	div(2.5時間ごとに持続)

day	Rp	薬剤名	投与経路(速度)
<day1>	Rp.1	メイロン20mL 1A ソルデム1 500mL	div(2.5時間ごとに持続) ^{※1}
	Rp.2	デキサート 9.9mg	div(30分で)
<day1>	Rp.2	5-HT ₃ R Blocker 1A 生理食塩水 100mL	div(30分で)
	Rp.3	ダイアモックス 250mg 生理食塩水 50mL	div(15分で)
<day1>	Rp.4	メトトレキサート 12g/m ² メイロン20mL 4A ソルデム3A 1000mL ^{※2}	div(6時間で)
	Rp.5	強力ネオミノファーゲンシー 1A メイロン20mL 2A ソルデム3A 1000mL	div(5時間ごとに持続)

day	Rp	薬剤名	投与経路(速度)
<day2>	Rp.1	強力ネオミノファーゲンシー 1A メイロン20mL 2A ソルデム3A 1000mL	div(5時間ごとに持続)
	Rp.2	ロイコボリン 15mg/m ² 生理食塩水 100mL	div(全開で)
	Rp.3	ロイコボリン 15mg/m ² 生理食塩水 100mL	div(全開で)
<day2>	Rp.4	ロイコボリン 15mg/m ² 生理食塩水 100mL	div(全開で)

day	Rp	薬剤名	投与経路(速度)
<day3>	Rp.1	強力ネオミノファーゲンシー 1A メイロン20mL 2A ソルデム3A 1000mL	div(5時間ごとに持続)
	Rp.2	ロイコボリン 15mg/m ² 生理食塩水 100mL	div(全開で)
	Rp.3	ロイコボリン 15mg/m ² 生理食塩水 100mL	div(全開で)
<day3>	Rp.4	ロイコボリン 15mg/m ² 生理食塩水 100mL	div(全開で)
	Rp.5	ロイコボリン 15mg/m ² 生理食塩水 100mL	div(全開で)

day	Rp	薬剤名	投与経路(速度)
<day4>	Rp.1	強力ネオミノファーゲンシー 1A メイロン20mL 2A ソルデム3A 1000mL	div(5時間ごとに持続)
	Rp.2	ロイコボリン 15mg/m ² 生理食塩水 100mL	div(全開で)
	Rp.3	ロイコボリン 15mg/m ² 生理食塩水 100mL	div(全開で)
<day4>	Rp.4	ロイコボリン 15mg/m ² 生理食塩水 100mL	div(全開で)

【参考文献: J Orthop Sci (2009) 14:397-404】

【備考: ※1 メイン10時にて切り替え。】

【備考: ※2 ソルデム3A はメトトレキサートの量に合わせて、全量1080mLとする。】

【備考: ※①メトトレキサートは15歳未満で12g/m²、15歳以上で8~10g/m²とする。】

②メトトレキサート投与開始から24時間後より、ロイコボリン15mg/m²を6時間ごとに最低10回投与する。

③ダイアモックス錠(250mg) 2T2 × Day1~4】

④MTX血中濃度測定…6、24、48時間値 状況により72時間値

原則として血中濃度10⁻⁷未満になるまでロイコボリン投与を続ける。

【変法情報: